

生徒指導部通信

令和3年度第1号
令和3年4月30日
文責 田中 優樹

■ 信頼される人間へ

1. 規範意識を高め、えりも高校生としての自覚をもとう！
2. 社会に通用する人間性を育もう！

頭髮服装指導や全校集会で話をさせていただきました。「信頼される人間へ」ということを目標に、今年度、皆さんと関わっていきたいと思います。「相手軸で物事を考える（相手のために、思いやりをもった行動を心がける）」、それは挨拶、身だしなみ、姿勢など全てに言えることです。学校生活以外でも常にそのことを意識して生活していきましょう。

挨拶は何のためにするのか。私自身2つの意味があるのではないかと考えています。1つは、自分の存在を示すためです。自分に気付いてもらい、その後のコミュニケーションを円滑に図れるようにします。また、挨拶は話し始めのクッションともなり、その日の相手の様子を伺えるものにもなります。もう1つは、相手に心地よくなってもらうためです。相手を気持ちよくさせられることができ、「元気で爽やかな挨拶」は、された側にとって心地よく、「この人と関わりたい」とも思わせることができます。ただ、「この人と関わりたい」と思わせることができた段階で結果的には自分のためになります。学校生活に置き換えると、皆さんが先生方、来校される外部の人、地域の人に元気な挨拶をすることで、「この人にはこんなことを教えてあげたい」「この人にはぜひうちの大学へ進学してほしい」「この人にはぜひうちの企業に来てほしい」、このような気持ちは高まるはずで、相手のためにしたことは結果的には自分に返ってくる、挨拶はそれが顕著になるものであると思います。

職員室の入退室、皆さんの取組状況を今一度確認して下さい。少し話は変わりますが、皆さんは卒業後、進学・就職をし、最終的には何かしらの職業に就くはずで、そこには、必ず目上の人いわゆる上司・先輩がいると思います。その方々と関わる時には失礼のないように、身なりを整え、適切な言葉を使用することがマナーであり、良い関係を築き上げることにつながります。学校生活における目上の方は先生方、1、2年生にとっては先輩方がそれに該当すると思います。話を戻しますが、職員室は皆さんが勝手に入ることはできない空間です。マナーを守ることで初めて入室が許可されるものです。進路活動につなげられるような職員室の入退室を意識して下さい。併せて普段の授業での礼についても同様に心がけましょう。

■ まずはやってみる

「何のためにするのか」、皆さんは何かに取り組むときにこのような疑問が少なからずあるはずで、何に対しても疑問を持ち、考えながら行動することは非常に大切なことです。しかし、それがマイナスの方向に働くこともあります。考えた結果、「その行動は無意味だな」そう思った時点でその取組からは何も得られません。そうならないためにも、さらに思考を続けて下さい。「その行動は無意味かもしれない。でも、そこから何を学べるのか、まずはやってみよう」。無意味なことはないと思います。まずはやってみる。そこが皆さんの成長につながります。

■ GWを有意義に

今年度は5連休。4月は年度初めということもあり、慣れない環境から疲れもあると思います。ただ休むだけでなく、有意義に時間を使えるよう計画的に過ごしてほしいと思います。

①生活について

- 1) 規則正しい生活を心がける(起きる時間を一定にしよう)。
- 2) 携帯電話・スマートフォンは正しく利用する(SNS等でトラブルに巻き込まれてからでは遅いです)。
- 3) 外出時は「どこへ」「だれと」「なにを」「何時に帰宅するか」を伝える(アルバイト等も計画的に)。
- 4) ダメなことは「絶対ダメ」と断る勇気を持つ。
- 5) 出かける際は感染対策をする。

②学習について

- 1) 家庭学習の習慣を確立させる(連休こそその真価が問われます)。
- 2) 読書をする(短い時間でも良いので、読書に努め様々な考え方に触れる)。



③交通安全

- 1) 常に周囲を確認し行動する。
- 2) 歩きスマホは絶対にしない。
- 3) 車に乗る際はシートベルトを着用する。



※自分自身を大切に

4月までの自分自身を評価してみましょう。学校生活、私生活等100点満点中何点でしょうか。おそらく0点という人はいないと思います。もちろん反省点や今後の課題などたくさんある人もいますが、「これは出来たぞ」という点も必ずあるはず。そこを大事にしてください。出来たことを素直に褒めることは非常に大切なことです。自分自身を大切に、少しでも出来たことはプラスに捉えましょう。次回の登校日は5月6日(木)です。元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。

◎ぜひ活用を!

価値観が多様化し、悩みを抱えることはたくさんあり、悩んでいるのは自分だけではありません。そんな時は誰かに相談しましょう。まずは気軽に先生方に話してみてください。(えりも高校 01466-2-2405)

また、保護者の方や学校の先生に話しにくい場合は、外部機関を利用することもできます。

◆北海道教育委員会 子ども相談支援センター (0120-3882-56 ※無料・24時間対応)

○計画的に過ごそう!

連休中にやることを記入しよう

土	日	月	火	水	木
1	2	3	4	5	6
To Doリスト	To Doリスト	To Doリスト	To Doリスト	To Doリスト	To Doリスト
GW①	GW②	GW③	GW④	GW⑤	
					元気な挨拶を期待しています。